

第100回愛知県社会人クラブチーム対抗バドミントン選手権大会(後期リーグ戦)

愛知県バドミントン協会広報委員会

1位 はりーあっぷ(A)



深尾・鈴木



川原



浅野・安藤



本大会を長年リードし続けたはりーあっぷ(A)が、節目の100回大会で1位に振り返いた。

ベテラン鈴木・深尾は、第一ダブルスで台頭する若手を跳ね返してチームを牽引。シングルの李・川原の2枚看板が躍動する。

全勝対決となった FLIGHT 戦はストレートで勝利。世代交代が進む1部において価値ある優勝となった。

2位 FLIGHT(A)

同世代チームの強みで、試合ごとにダブルスを組み換えながらも、持ち前のスピードで勝ち進み、最終戦まで優勝争いをした。



青山・稲葉



西塚・國分



中林・青山

3位 紫電会



高橋・田畑

シングルスで大谷が確実にポイントをあげる。ダブルスも、2強との対戦では、フルゲームとなる競り合いをみせる。



井原・稲垣

WISTARIA(A)



RS NONAK(A)



SMAGAN(A)



大会初日 シングルス3強の対戦



大谷

2025 年の全日本総合にダブルスで出場した中林（FLIGHT）、大谷（紫電会）がリーグの舞台ではシングルスで激突。また全国社会人で優勝を飾った川原（はりーあっぷ）も大谷に挑む。

豊富な運動量でコート进行をカバーする川原、俊敏な動きで攻撃的なラリーを展開する中林がそれぞれ持ち味を発揮。大谷は高い位置でのタッチで速い球を繰り出し、ラリーを優位に進める。スピードのある二人との対決を勝ち抜いた。



川原



中林